



# コスモスだより

## 消化器センター 診療強化に向けて

食道 *the esophagus*

*the liver* 肝臓

胃 *the stomach*

胆嚢 *the gallbladder*

十二指腸

*the duodenum*

膵臓

*the colon* 大腸 *the pancreas*

*the small intestine* 小腸

4月から  
新体制



### 病院の理念 基本方針

#### 地域住民を守る良質な医療の提供

1. 医療を通じ患者さんの喜びが自らの喜びになるような職業人をめざします。
2. 常に技術の研鑽に努め、高度な医療の提供により、病気の早期発見・治療の充実をめざします。
3. 患者さんの治療には、各々の職務を結集したチーム医療をめざします。
4. 地域の医療機関と連携を密にし、信頼される中核病院として急性期医療をめざします。



## 院長就任のごあいさつ

院長 辻仲 利政

4月から  
新体制

平成 25 年 4 月 1 日付けで第 13 代院長に就任いたしました。市立貝塚病院は創設 74 年を迎える歴史と伝統のある市民病院であり、大変名誉に感じますが、現在の病院が置かれた状況と院長として果たすべき役割の大きさを考えると、改めて身の引き締まる思いがします。



「地域住民を守る良質な医療の提供」が本院の使命であり、民間では出来ないもしくは十分行うことの出来ない医療を提供することが、公的病院としての役割です。1) 利潤を優先せず、より安価で質の高い医療を提供する、2) 現時点で最良と判断される標準医療を提供する、3) 医療についての透明性と説明責任を果たす、4) 先進医療を提供し、新規治療開発に不可欠な臨床試験に積極的に取り組む、5) 技術研鑽と専門性向上に努めて高度医療を提供する、6) 地域住民に対する疾患の予防・啓蒙・教育に積極的に取り組む、などの役割があります。このような役割を担って行くためには、経営基盤を安定させることが必要です。平成 25 年度は病院改革プラン最終年度にあたり、単年度黒字化を目指しています。そのためには、全ての職員は知恵を絞り、節約に努め、より質の高い医療の提供に向けて努力しなければなりません。地域住民および地域医療施設のニーズに答えるだけでなく、「本当に必要とされる病院」とならなければなりません。

医療構造は急速に変化しています。公立病院は、組織としてフットワークが遅く変化への対応が遅れることが指摘されてきました。当院もその例外ではありませんでしたが、今後、「新生貝塚病院」を合い言葉に、院長と特任院長が先頭となって全職員が変革に努めてまいります。当病院の長所を生かして短所を改善し、積極的に人材交流と育成を行い、これまで以上に学術活動を活性化して行く所存です。

地域住民から評価され信頼され、若い医師や医療者にとって魅力的な病院となるように努力いたしますので、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

泉州広域母子医療センターとして  
りんくう総合医療センター  
と産婦人科機能を統合



財) 日本医療機  
能評価機構 Ver. 5 認定

平成 19 年

3月 5月

乳がん高度検診治療センター開設

平成 20 年

生殖医療センター・  
内視鏡センター・  
外来化学療法センター開設



《外来化学療法センター》

平成 21 年

7月 神経内科を標榜

平成 22 年

3月 形成外科を標榜

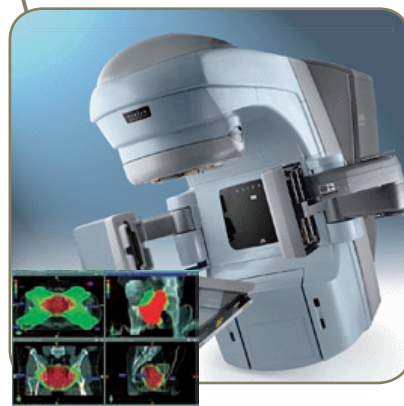
平成 23 年

リンパ浮腫診察室を設置

4月

大阪府がん  
診療拠点病院指定

最新放射線治療システム  
導入 (IMRT 対応)



がん細胞の形に合わせて正確に放射線を集中させ、正常細胞への照射を減らす最新技術を採用。合併症が少なく、より効果的な治療を行うことができます。



婦人科腫瘍センター開設

3月

消化器内科開設  
乳腺外科を標榜

4月

乳がん高度検診治療センター  
化学療法センター  
リニューアル

平成 24 年

7月 消化器センター 開設

消化器センターを婦人科系疾患と並び  
当院の治療の柱とするため、今後もより  
一層の充実に向けて努めていきます。

※ 4 ページ参照



4月 健診センター 開設

※ 6 ページ参照

健診センターが新たに設立され、受付を開始いたしました。  
一般健診だけではなく、充実したがん検診を提供することが可能  
になりました。

7月

電子カルテ導入 (予定)

医療の効率化・省力化・チーム医療の推進・無駄のない医療を行うため、電子カルテ導入に引き続き、DPC 病院への準備もすすめています。

平成 25 年

## 特任院長就任のごあいさつ

特任院長 兼 乳がんセンター総長 稲治 英生

4月から  
新体制

このたび特任院長を拝命しました。市立貝塚病院における乳がん診療を中心としたがん診療の推進を特任使命ととらえ、病院長とは少し異なった視点から病院運営に取り組みたいと考えています。すなわち、公立病院の存在意義が問われている今日、「がん診療、高度・先進医療に特化した病院」として当院の特色をアピールしていきたいと思っております。



当院の乳がん高度検診・治療センターは平成 18 年の開設以来、平成 23 年のリニューアルを経て、質・量ともに国内トップレベルの乳がん医療機関として知られるようになりました。医師のみならず看護師・薬剤師・検査技師などを含むチーム医療もすでに完全に根付いています。乳がん看護外来・リンパ浮腫外来の設置や、乳がん自己検診法の出張講座など、患者さんや一般市民の目線に合わせた独自の活動もひそかに誇りとするとところ。院内の整備はもとより、今後は大阪府がん対策推進委員として行政面にも働きかけていきたいと考えています。

今後とも、時代の要求を見据え、地域住民にとって質の高い医療とは何かと自問自答しつつ前進してゆく所存でありますので、どうかご支援のほどお願い申し上げます。



# 消化器センター 診療強化に向けて

消化器疾患の総合診断・治療センター

## 消化器センター

### 消化器センターの目標

1. 消化器内科と消化器外科、ならびに関連する診療科が  
合同で診療にあたるチーム医療の推進。
2. 診断・治療そしてフォローアップまで切れ目がない、  
患者さんを中心とした継続性ある医療の推進。
3. 最新の消化器診療の提供および新規治療開発。

### 多様な治療への対応&

### 適切な情報提供

### 専門性の高い技術を持った医師達による多様な治療

消化器センター開設にあたり、高い専門性と経験を持つ専門医を招聘。様々な治療法の中で、患者さんにより適した治療、あきらめない治療を行っていきます。

また、治療実績が十分に検討された根拠ある治療（標準治療）を行うのはもちろん、それぞれの専門分野での最新の情報を取り入れ、臨床試験に積極的に取り組むことで、より質の高い高度医療を円滑に行えるようつとめていきます。

様々な検査や治療法がある中、期待される効果や副作用など、ご心配されることも多いと思います。消化器センターでは、様々な角度からできるだけ多くの情報を提供し、治療の内容や根拠をご理解していただくことにより、最新の医療も安心して受けていただきたいと考えています。

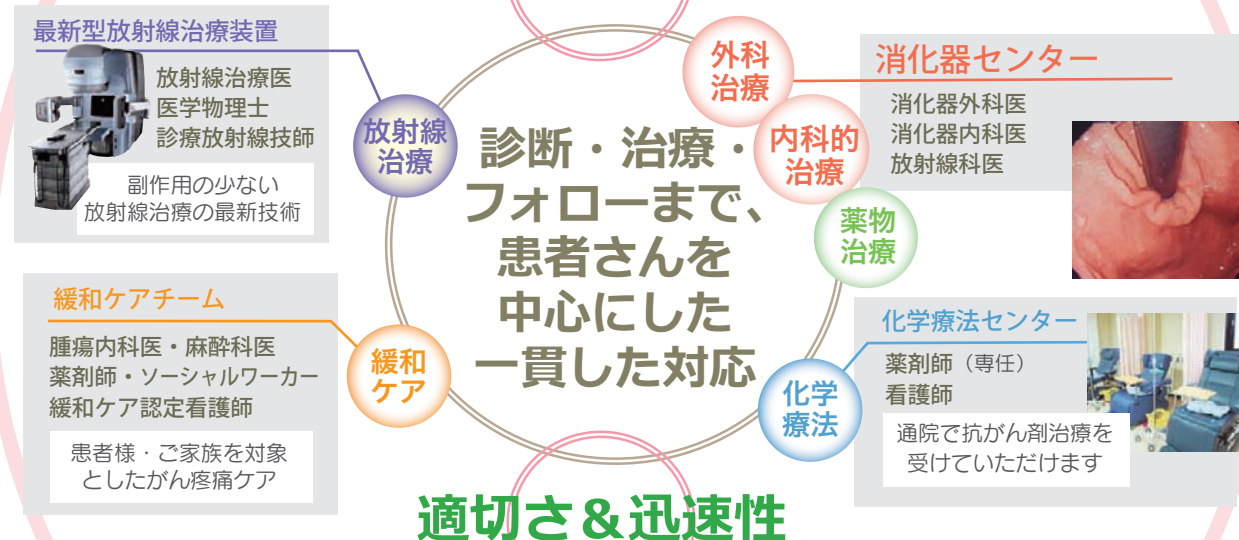
治療法の選択に迷われる場合は、別の専門領域の医師の診察を受けることも可能です。

### 科を越えて専門医が協力

内科・外科といった従来の枠組みにとらわれず、患者さんに最適の治療を提供できるように、消化器内科医、消化器外科医、化学療法専門医、放射線治療専門医が協力して診療・治療にあたります。

- ➔ 各専門医が参加する合同カンファレンス（症例検討会）を行い、さまざまな意見を共有することで、より患者さんに最適と考えられる治療法を選択しています。
- また、治療法にズレがないかなど、カンファレンスにより絶えず確認を行っています。

### 枠組みにとらわれない最適な治療



### 適切さ&迅速性

### 最も適した治療を検討し、迅速に実践する

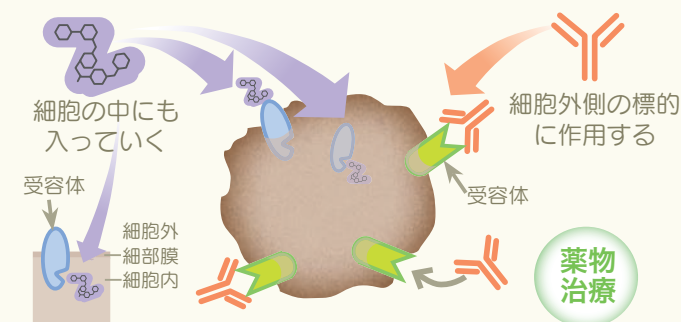
同じ消化器疾患でも、病状（病気の状態や様子）によって行われる検査や治療の方法は異なります。また消化器のがんは「早期がん」から「進行がん」あるいは「再発がん」まで、時間と共に病状が変化します。受診された患者さんの現在の病状に最も適した検査と治療法を各分野の専門家が共同して検討することで、迅速に対応、実践することができます。

消化器センターで診療を始めた後も、病気の進み具合に応じて、検査の追加や他の治療法の選択が必要となることがあります。そのため、患者さん中心の切れ目がない診療を目指し、初期治療から治療後のフォローアップまで、患者さんを中心とした継続性のある診療を行います。

## 消化器センターでの治療方法（一例）

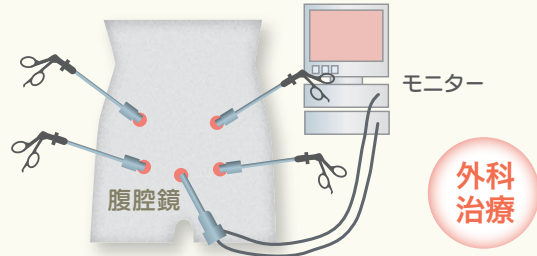
### 【分子標的薬療法】

分子標的薬は、抗がん剤と違い、特定の性質を持った特定の分子（がん細胞）に働きかけることで効果を発揮。抗がん剤に比べ、比較的副作用が少ないことが特徴です。



### 【内視鏡外科手術（腹腔鏡・胸腔鏡術）】

お腹を大きく開くことなく、腹部や胸部に数力所の穴を開けて手術器具と腹腔鏡を入れ、モニターでお腹の中を見ながら手術を行います。適応には条件がありますが、術後の痛みも少なく、回復が早いなどの体への負担の少ない手術です。



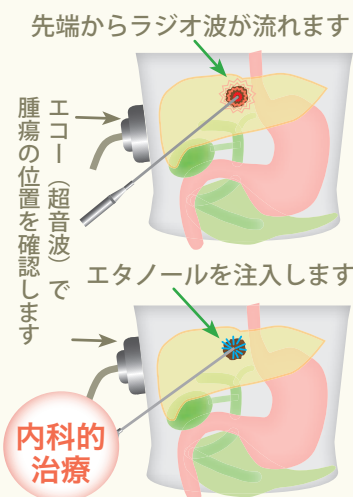
### 【内科的局所治療】

#### ●ラジオ波焼灼療法

針を超音波で位置を確認しながら腫瘍に差し込み、挿入した針の先からラジオ波（高周波）を流し、熱によってがん組織を凝固壊死させます。

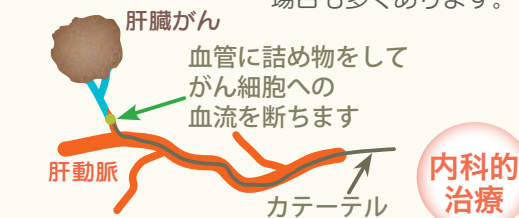
#### ●エタノール注入療法

上記と同じく、腹部または胸部から針を刺して、腫瘍にエタノールを注入し、がん細胞を凝固死滅させます。



### 【経カテーテル動脈塞栓法】

肝動脈にカテーテル（細い管）を入れ、そこから血管に塞栓物質を詰めてがん細胞への血流を絶ち、兵糧攻めにする方法です。腹部血管造影の検査に引き続き行われることもあります。また、抗がん剤を併用する場合も多くあります。





# 健診センター開設

## 疾患予防とがんの早期発見に向けて

当院では、これまでも人間ドックや女性特有のがん検診などを行ってきましたが、4月より「健診センター」を開設し、新たな健診内容が加わりました。

【がん検査に関するオプションメニュー】を取り揃え、より使いやすい健診内容です。

がんの早期発見・早期治療、生活習慣病を発病前に発見し予防することで、市民の健康維持に役立ちたいと取り組んでいます。

### 基本メニュー 38,000円 (税込)

問診、身体測定、生理検査 (血圧、心電図)  
胸部レントゲン、上部内視鏡  
腹部超音波検査  
視力検査、聴力検査、肺機能検査  
免疫検査、血液検査、生化学検査  
尿検査、便検査

### オプションメニュー

- 消化管オプション4種 (対象：胃がん・大腸がん)
- 肝臓オプション (対象：肝臓がん)
- 肺オプション (対象：肺がん)
- 女性オプション4種 (対象：乳がん・婦人科がん)
- 泌尿器オプション (対象：前立腺がん 他)

### 充実した基本メニュー

当院の健診センター基本メニューは、人間ドックレベルの健診内容と充実。

上部消化管検査は、胃透視 (バリウム服用のレントゲン撮影) ではなく、疾患の発見率が高く患部を直接診ることのできる上部内視鏡検査 (胃カメラ) が標準です。また上部消化管検査では、経鼻ファイバーと経口ファイバーのいずれかを選択していただけます。

### オプションメニューの充実で、ご希望に合ったきめ細やかな『がん健診』を

対象疾患 (がん) 毎の対応はもちろん、女性オプションなどでは、年齢や状況に合わせて検査内容などのご希望にきめ細やかに対応できるよう、複数のセット内容を設けました。

また、消化管オプションの内視鏡検査を除き、基本メニューとオプションメニューを同日に受けていただくことができます。

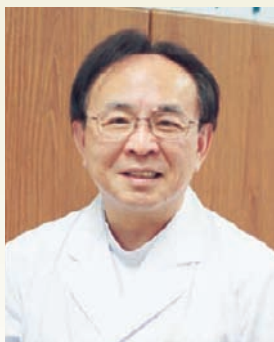
【申込・お問い合わせ】市立貝塚病院健診センター ☎ 072-422-5865 (代表) (月～金曜 8:30～15:00)  
※これまで通り、就職時・就学時など各種健康診断や脳ドック、市のクーポンや助成による検診も受け付けております

## がん・生活習慣病の早期発見を目標に!

皆様、健康に不安を感じられたことはありませんか?

健康を守るためには、規則正しい生活・食生活の管理による病気の予防、定期健診による病気の早期発見・早期治療の2つが重要なポイントです。日本は長寿の国ですが、それ故に、国民の2に1人は、一生に一度は何らかのがんに罹患すると推定されています。いまやがんは誰にでも起こりうる身近な病気です。したがって、早期発見・早期治療によって、命を落としたり生活の質を下げることがないようにしなければなりません。

この度、市立貝塚病院は最新の検査法を取り入れた「健診センター」を開設いたしました。がん・生活習慣病の早期発見を目標とし、皆様の健康を守るお手伝いをさせていただきたいと考えています。



副院長 兼 健診センター長  
石田良雄

## ■ 第38回 市立貝塚病院 市民公開講座

【テーマ】 **内視鏡診断と治療**

【日時】 7月11日 (木) 13:00～14:30

【講師】 市立貝塚病院 消化器内科 富永 恒平

【場所】 市立貝塚病院 4階A会議室

【費用】 無料 (定員40名 要予約)

【申込・お問い合わせ】 市立貝塚病院 地域医療連携室 ☎ 072-422-5865 (内線: 236)  
※1階総合案内でも受け付けいたしております。

平成25年  
7月11日  
(木)

## ■ 第3回泉州がん医療フォーラム (貝塚市市制施行70周年記念)

【テーマ】 **がん治療の最前線～知っておきたいがん治療～**

【日時】 7月6日 (土) 13:00～16:30

【場所】 コスモシアター (中ホール)

【主催】 市立貝塚病院・NPO法人泉州がんネットワーク・産経新聞社

【費用】 無料 (要応募)

【申込・お問い合わせ】 市立貝塚病院 地域医療連携室 ☎ 072-422-5865 (内線: 236)

平成25年  
7月6日  
(土)

## 地域連携ニュース

### ■ 平成24年度 (H.24.4～H25.3) 紹介件数のご報告

平成24年度は、1年間で6,813件のご紹介をいただきました。ありがとうございました。

「地域医療連携室」は、地域の医療機関等と密接な連携を図り、役割分担を行いながら、患者様に満足していただける適正で質の高い医療を提供することを目的としております。患者様にも、地域医療機関の皆様にも信頼していただける市民病院であるために努力して参ります。今後ともよろしくお願い申し上げます。

科別	件数	科別	件数
内科	457	整形外科	479
消化器内科	746	皮膚科	176
神経内科	100	泌尿器科	556
小児科	556	産婦人科	1,268
外科	410	眼科	598
乳腺外科	744	耳鼻咽喉科	18
形成外科	165	放射線科	540

### ■ 院内研修会のご案内 (医療従事者対象)

当院職員の研修会に近隣の医療機関の皆様も参加していただけます。日々の診療に是非お役立ててください。

5月17日 (金) 17:30～

「当院の治療食と濃厚流動食について」  
栄養管理室 室長 中野忠雄

6月21日 (金) 17:30～

「腰下肢痛の診断と治療」  
整形外科 副部長 尾上仁彦

【対象】 地域の医療従事者の皆様

【場所】 市立貝塚病院 4階A会議室

【申込・お問い合わせ】 市立貝塚病院 地域医療連携室 ☎ 072-422-5865 (内線: 236)